



その“認識”で 大丈夫？

相手や周りの人は
“ハラスメント”と思っているかも



「君のためを思ってやったんだ」－それ、伝わっていますか？

たとえ相手のためと思って行った言動でも、相手が傷付くような伝え方をすれば、その意図も伝わらず、ハラスメントと捉えられる可能性もあります。

「相手も同意しているから問題ない」－それ、本当ですか？

教員と学生、上司と部下などの上下の関係である場合、立場上、簡単に断れない場合もあります。

「自分の若い頃はこれぐらい当然だった」－時代は変わっています。

昔は通用したかもしれない言動でも、今の時代には合わないものもあります。

ハラスメントは、言動に対する「加害者」と「被害者」の認識のズレにより引き起こされることがあります。あなたの認識だけで行動・発言するのではなく、その言動を相手や周りの人がどのように思うのか、一度考えてみてください。

